



「籠の果物I」 坂田 瑞来

## よいことのために 手を取りあおう

### UNITE FOR GOOD

2025-2026年度国際ロータリーテーマ

事務局	四国中央市金生町下分789-1	四国中央商工会議所内
	http://www.iyomishima-rc.jp	TEL(0896)58-3530
	E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp	FAX(0896)58-6294
例会	金曜日 12:10~13:10	
■会長/高岡 淳	■幹事/川崎直人	■会報委員長/中野 航

## 職業奉仕委員会

副委員長 佐藤 慎輔



職業奉仕という言葉は、「職業を営むことが、世のため人のための奉仕となる」という意味があります。職業奉仕にとって、ここが一番の難解な点であり、この言葉を理解しなければ職業奉仕は永遠の謎となってしまいます。ロータリーはこれを説明するのに、「職業の心」と「奉仕の心」は「ひとつの心」として説明しております。そして、この「ひとつの心」とは即ち、「世のため、人のために奉仕をする心をもって、職業を営むべし」という言葉で言い表されております。

ロータリーは職業倫理を追求する運動なのです。そして、これが「職業奉仕の本質」でもあります。「職業を営むことが、世のため人のための奉仕となる」という考えは我々にとって非常に理解しにくい言葉です。ここで間違っ

てはいけないのは、世のため人のために奉仕するということ、原価に近い値段で物品を販売するということではありません。そういうことをしたならば同業者に迷惑をかけることとなります。お金を儲けるという事にこだわらず、いかにして顧客が満足して商品や技術を得ることができるかを考え、社会の要求に応じていくその過程の中に職業倫理が存在します。

「社会奉仕」という言葉の中に職業奉仕が含まれないのかというところではありません。だから誤解を生む言葉なのです。では、どのように区別するのか。それは、奉仕活動に対して「受益者が誰であるか」で区別することができます。奉仕活動によって地域の人々、地域社会が受益者になる場合、これが「社会奉仕」です。そして自分がおこなった奉仕活動によって「自分自身」が受益者になる場合、これが「職業奉仕」です。

奉仕活動によって利益を得ることになれば、受益者が自分となり、この奉仕活動は「職業奉仕」となるのです。

第 3491 回

例会 記 録

令和 8 年 1 月 23 日

開会 高岡 淳 会長

出席報告

出席会員 (33名中)	22 名
名誉会員	1 名
出席率	65.63 %
第 3489 回修正出席率	68.75 %

会長の時間

○定例理事会

- ・IMクラブ負担金について 承認
- ・2月度プログラムについて 承認

2/6 IM報告

2/13 米山委員会

2/20 会長の時間

(18:00 ~、夜間例会)

2/27 会員増強・職業分類委員会、定例理事会

【行事予定】

2/15(日) 会長エレクト研修セミナー (松山)

幹事報告

・ガバナー事務所 ~ ガバナー月信 1月号

・例会変更通知

(新居浜)

2月12日(木) 夜間例会

3月12日(木) 夜間例会 (親睦家族会)

例会行事

職業奉仕委員会

佐藤慎輔 副委員長

ニコニコ紹介

鈴木和範 職業奉仕委員長~

本日は職業奉仕委員会の担当例会となり、佐藤副委員長よりお話をいただきます。どうぞよろしくお願ひします。

手島 純君~

先日の幹事杯でメンバー・お天気にも恵まれ、優勝することができました。鈴木幹事の前日遅くまでの残業にも関わらず、午後からプレーをご一緒でき、楽しい一日を過ごすことができました。また、次回の開催を楽しみにしています!

鈴木和範ゴルフ部幹事~

先日のエリエール松山で開催された幹事杯にご参加された皆さん、おつかれ様でした。手島さん、優勝おめでとうございます。わたくしはというと、当日朝に音信不通となりご心配おかけ致しました。

明日のIMに向けて、今日も前乗りですが、やりすぎないように気をつけます。

2月13日プログラム予定

米山委員会